平成２９年１月

山岳遭難事故発生状況

（平成２８年）

静岡県警察本部

地域部地域課

1　概況

平成 28 年中の山岳遭難事故は、次のとおりであった。

区分 年別	（件） 発生件数	事故者総数（人）					
		総　数	死　亡	行方不明	重　傷	軽　傷	無事救出
平成28年	132件	159人	6人		21人	35人	97人
平成27年	114件	129人	8人	3人	21人	27人	70人
増　減	+18	+30	−2	−3	±0	+8	+27

2　山岳遭難事故の特徴

平成 28 年中に発生した山岳遭難事故の主な特徴は、次のとおりである。

(1)　件数は富士山が世界文化遺産に指定された平成 25 年に次ぐ発生であり、事故者は統計が残る昭和 48 年以降で最も多い歴代ワースト１であるが、死亡・行方不明は減少した。

(2)　山系別では、富士山が全体の 65.2％に当たる 86 件で前年比に比べ 24 件増加したが、南アルプスやその他の山ではわずかに減少した。

(3)　月別では例年同様夏期の２か月間に集中し、全体の 63.6％にあたる 84 件（前年比+22 件）が発生し、特に８月の富士山での発生が大幅に増加した。

　また、閉山期の遭難を防ぐ目的で策定した「富士登山における安全確保のためのガイドライン」の広報効果もあり、平成 27 年は閉山期の死者は１人に止まったが、昨年は３人に増え、さらに年明け早々にも遭難があるなど今後大きく増加する兆候が見られる。

(4)　目的別では、夏期を中心とした富士山等への観光登山が 74 件（56.1％）と例年同様に最も多かった。

　その多くが、天候に関する誤った判断や不十分な装備で山小屋を利用せず徹夜で登る弾丸登山など、無理な計画が原因と思われる高山病や疲労により行動不能となる遭難であった。

(5)　態様別では、富士山だけでなく南アルプスやその他の山でも多い転倒が 38 件と最も多く、次いで発病が 31 件、全国統計の事故原因で最も多い道迷いは 28 件で本県では３番目であった。

(6)　曜日別では、土・日曜が 64 件（48.5%）と昨年よりも 3.8 ポイント増加し、週末に集中する傾向がより顕著になった。

(7)　パーティー別では、単独登山者の遭難発生件数が 33 件（25.0%）と昨年に比べ 5.7 ポイント減少したが、死者全体に占める単独の割合は 66.7％にも

及び、複数登山に比べ重大な結果につながる危険性が高い。

(8)　警察署別では、富士山を管轄する富士宮署が53件と最多で、同じく富士山を管轄する御殿場署が37件、南アルプスを管轄する静岡中央署が22件であり、この3署で112件（84.8%）を占めている。

(9)　年齢層別では、60歳以上の遭難が40.9%と最新の警察庁統計と比べ10ポイント以上低い。これは、若年遭難者の多い富士山を含むためであるが、一方で、南アルプスやその他の山では60歳以上の遭難者が65.2%を占めるなど全国統計以上に高齢者比率が高くなっている。

(10)　男女別では、男性が106人（66.7%）を占めているが、ここでも圧倒的に男性が多い富士山の影響が大きい。逆に、昨今の登山ブームや山ガールの増加傾向が低山での女性遭難者の増加に反映したものと思われる。

一方、男性は女性に比べ無理な登山を敢行する傾向が窺われ、死亡や富士山での遭難者にそうした傾向が見られる。

(11)　居住地別では、外国人を含む県外居住者が120人（75.8%）を占めた。特に富士山においては、県外者が61人（66.3%）、外国人が20人（21.8%）と遭難者のほとんどを占め、これらに対する広報が必要である。

(12)　平成28年中に警察本部へ提出された登山計画書は1,209件で前年に比べ62件増加したが、平成26年4月に導入したインターネットを利用した電子申請による受理システムが定着してきたためと考えられる。また、132件の遭難事故のうち、登山計画書が提出されていたのは15件（11.4%）で、昨年の18件（15.8%）と比べると4.4ポイント減少した。

特に、重大事故に至る可能性が高い閉山期の富士山の遭難に限ると「登山計画書」の提出は12件中の1件（8.3%）であり、「富士登山における安全確保のためのガイドライン」の形骸化が、進んでいるものと懸念される。

1　年別発生状況

区分 年別	（件） 発生件数	事故者総数（人）					
		総数	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出
平成19年	40件	45人	4人	1人	4人	15人	21人
平成20年	65	76	12		10	18	36
平成21年	82	147	12	5	12	23	95
平成22年	78	98	9		7	22	60
平成23年	79	89	6	5	10	20	48
平成24年	97	126	15	3	8	26	74
平成25年	139	156	10	3	19	35	89
平成26年	116	131	8	1	19	22	81
平成27年	114	129	8	3	21	27	70
平成28年	132	159	6		21	35	97

2　山系別発生状況

区分 山系別		（件） 発生件	事故者総数（人）					
			総数	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出
計		132件	159人	6人		21人	35人	97人
富士山	富士宮口	47	50			9	12	29
	須走口	23	24	3		2	7	12
	御殿場口	11	12	1			1	10
	その他	5	6					6
	計	86	92	4		11	20	57
南アルプス	聖岳	1	1			1		
	赤石岳	6	6			3	3	
	荒川岳	4	4			1	3	
	その他	4	4				2	2
	計	15	15			5	8	2
天城山系		10	16			1	1	14
愛鷹山系		2	3				3	
安倍山系		7	14	1		2	2	9
奥大井山系		2	2			1		1
北遠山系		1	1					1
天子山系		2	4					4
その他		7	12	1		1	1	9

3　月別発生状況

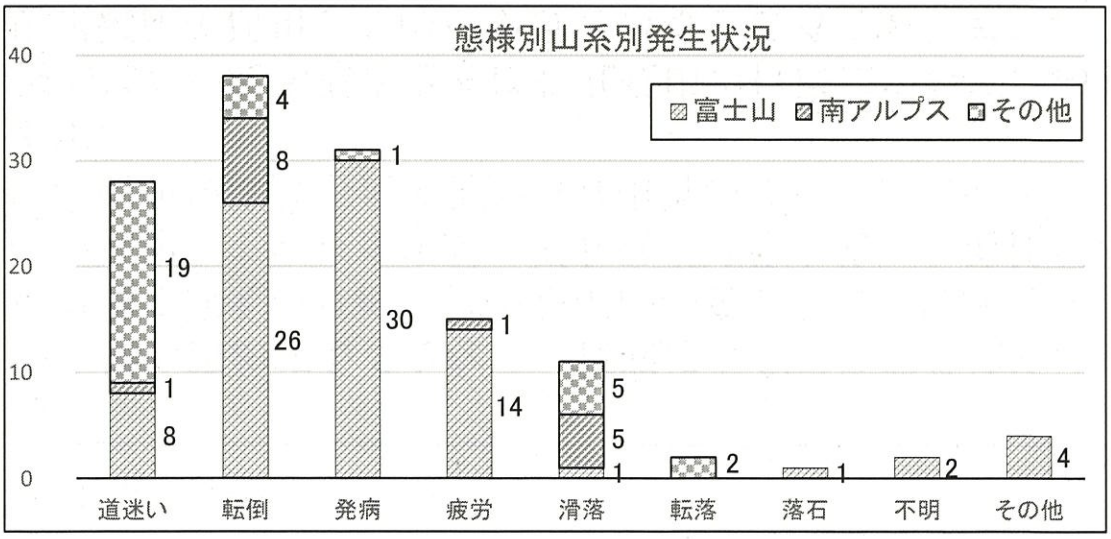
区分 / 月別	発生件数	死亡	行方不明	負傷		無事救出	山系別発生件数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	132件	6人		21人	35人	97人	86件	15件	31件
1　月	3					4	1		2
2　月	1				1				1
3　月	1	1							1
4　月	4				1	3	2	1	1
5　月	5			4		1	1		4
6　月	7	1		1		8	4		3
7　月	32	1		4	13	17	24	6	2
8　月	52	1		9	13	31	46	4	2
9　月	9	1		3	1	4	6	3	
10　月	7				5	12	1		6
11　月	9	1				15	1	1	7
12　月	2				1	2			2

4　目的別発生状況

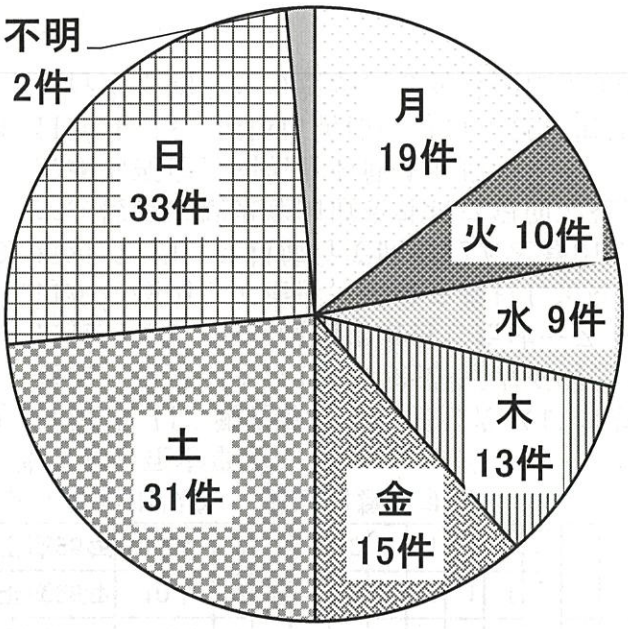
区分 / 目的別	発生件数	死亡	行方不明	負傷		無事救出	山系別発生件数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	132件	6人		21人	35人	97人	86件	15件	31件
登　山	48	3		8	14	46	8	15	25
スキー登山									
観光登山	74	1		10	19	48	74		
ハイキング	1			1					1
岩登り	2	1			1				2
野草採り									
渓流釣り	1			1					1
狩　猟	1				1				1
業　務	3					3	3		
不　明	1	1					1		
その他	1			1					1

5 態様別発生状況

態様別＼区分		発生件数	死亡	行方不明	負傷 重傷	負傷 軽傷	無事救出	山系別発生件数 富士山	山系別発生件数 南アルプス	山系別発生件数 その他
計		132件	6人		21人	35人	97人	86件	15件	31件
道迷い	地理不案内	17				1	30	5	1	11
	装備不備	5				1	9			5
	濃霧	2					4	2		
	その他	4					6	1		3
	小計	28				2	49	8	1	19
転倒	つまずき	10			2	8		8	2	
	スリップ	21			9	12		12	5	4
	バランス崩し	7			3	4		6	1	
	小計	38			14	24		26	8	4
発病	高山病	16	1				15	16		
	低体温症	6					8	6		
	脱水症	3					3	3		
	心疾患	2					2	2		
	その他	4					4	3		1
	小計	31	1				32	30		1
疲労		15				3	12	14	1	
滑落		11	2		5	5		1	5	5
転落		2	1			1				2
落石		1			1			1		
不明		2	2					2		
その他		4			1		4	4		



6 曜日別発生状況



7 パーティー別発生状況

区分 / パーティー別	発生件数	死亡	行方不明	負傷 重傷	負傷 軽傷	無事救出	山系別発生件数 富士山	山系別発生件数 南アルプス	山系別発生件数 その他
計	132件	6人		21人	35人	97人	86件	15件	31件
単　独	33	4		6	7	16	19	7	7
2 ～ 3人	56	1		7	12	56	34	4	18
4 ～ 5人	12			1	4	7	11		1
6 ～ 9人	14	1		3	7	9	6	4	4
10 ～ 19人	6			1		6	6		
20 人以上	11			3	5	3	10		1

8 警察署別発生状況

年別	平成28年				平成27年				前年対比			
状態別 / 署別	発生（件）	死亡（人）	負傷（人）	救助（人）	発生（件）	死亡（人）	負傷（人）	救助（人）	発生（件）	死亡（人）	負傷（人）	救助（人）
計	132	6	56	97	114	11	48	70	18	−5	8	27
下田	2	1		1	1		1	1	1	1	−1	
大仁	9		2	13	5		1	5	4		1	8
三島												
伊東	2		1	1					2		1	1
熱海					2			3	−2			−3
沼津												
裾野	2		3		1		1		1		2	
御殿場	37	4	10	28	31	1	14	19	6	3	−4	9
富士					2		2		−2		−2	
富士宮	53		21	39	34		12	25	19		9	14
清水	1			2	2		2		−1		−2	2
静岡中央	22	1	17	11	23	5	11	7	−1	−4	6	4
静岡南	1		1						1		1	
藤枝					2		1	1	−2		−1	−1
焼津												
島田	1			1	5	3	1	2	−4	−3	−1	−1
牧之原												
菊川												
掛川	1		1		1	1	1			−1		
袋井												
磐田												
天竜	1			1	5	1	1	7	−4	−1	−1	−6
浜松中央												
浜松東												
浜北												
湖西												
細江												

※ 行方不明は死亡に含む

9　年齢層別発生状況

区分 年齢層別	り災人員	死亡	行方不明	負傷		無事救出	山系別り災人員		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	159人	6人		21人	35人	97人	93人	15人	51人
60歳以上計	65	2		9	18	36	22	12	31
１５歳未満	9			1	1	7	7		2
１５歳～１９歳	5				1	4	5		
２０歳～２４歳	11	1		1	2	7	10		1
２５歳～２９歳	9					9	9		
３０歳～３４歳	11	1		1	3	6	7		4
３５歳～３９歳	11			3	1	7	9		2
４０歳～４４歳	11			1	3	7	6	2	3
４５歳～４９歳	11	1		2	3	5	8	1	2
５０歳～５４歳	10			3	2	5	7		3
５５歳～５９歳	5				1	4	2		3
６０歳～６４歳	14	1		2	5	6	6	3	5
６５歳～６９歳	22			6	5	11	7	5	10
７０歳～７４歳	16	1			6	9	5	2	9
７５歳～７９歳	10			1		9	3		7
８０歳以上	3				2	1	1	2	
不明	1	1					1		

10　男女別発生状況

区分 性別	り災人員	死亡	行方不明	負傷		無事救出	山系別発生人数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	159人	6人		21人	35人	97人	92人	15人	52人
男性	106	5		15	22	64	66	11	29
女性	53	1		6	13	33	26	4	23

11 居住地別発生状況

区分 / 居住地別		り災人員	死亡	行方不明	負傷 重傷	負傷 軽傷	無事救出	山系別り災人員 富士山	山系別り災人員 南アルプス	山系別り災人員 その他
計		159人	6人		21人	35人	97人	92人	15人	52人
静岡県		38	1		6	5	26	10		28
東京都		17			4	5	8	9	3	5
神奈川県		11			1	3	7	2	3	6
千葉県		14	1		1	2	10	8	1	5
埼玉県		10	1		1	1	7	4	1	5
茨城県		3			1	1	1	2	1	
栃木県		1				1			1	
長野県		2	1				1	1	1	
新潟県		1			1			1		
愛知県		10				2	8	9	1	
三重県		1				1		1		
岐阜県		2				1	1	1	1	
石川県		1			1			1		
大阪府		8			2	4	2	7	1	
京都府		2				1	1	2		
兵庫県		1					1	1		
北海道		2				1	1	2		
岩手県		1					1	1		
宮城県		1					1	1		
岡山県		5				2	3	4	1	
島根県		1					1	1		
愛媛県		1					1	1		
香川県		1	1					1		
福岡県		2					2			2
鹿児島県		1			1			1		
外国人	アメリカ	2				1	1	2		
	ドイツ	1				1				1
	イタリア	2					2	2		
	スペイン	1			1			1		
	リトアニア	1				1		1		
	メキシコ	1					1	1		
	UAE	2					2	2		
	中国	3				2	1	3		
	韓国	3					3	3		
	シンガポール	1					1	1		
	マレーシア	1					1	1		
	インドネシア	1			1			1		
	ベトナム	2					2	2		
	計	21			2	5	14	20		1
不明		1	1					1		

※ 外国人は居住地でなく国籍とした

12 登山計画書提出状況一覧表（平成28年中）

		富士山	南アルプス	その他	計	合 計
1月	一 般	7 件	1 件	30 件	38 件	50 件
	ツアーガイド	1 件		11 件	12 件	
2月	一 般	13 件	3 件	22 件	38 件	57 件
	ツアーガイド			19 件	19 件	
3月	一 般	11 件	3 件	23 件	37 件	59 件
	ツアーガイド			22 件	22 件	
4月	一 般	19 件	8 件	19 件	46 件	55 件
	ツアーガイド			9 件	9 件	
5月	一 般	61 件	11 件	37 件	109 件	138 件
	ツアーガイド	1 件		28 件	29 件	
6月	一 般	23 件	5 件	17 件	45 件	54 件
	ツアーガイド	7 件		2 件	9 件	
7月	一 般	85 件	66 件	20 件	171 件	193 件
	ツアーガイド	8 件	13 件	1 件	22 件	
8月	一 般	96 件	130 件	15 件	241 件	288 件
	ツアーガイド	21 件	25 件	1 件	47 件	
9月	一 般	45 件	37 件	13 件	95 件	118 件
	ツアーガイド	6 件	16 件	1 件	23 件	
10月	一 般	15 件	14 件	12 件	41 件	50 件
	ツアーガイド	4 件		5 件	9 件	
11月	一 般	22 件	5 件	41 件	68 件	93 件
	ツアーガイド			25 件	25 件	
12月	一 般	15 件	4 件	26 件	45 件	54 件
	ツアーガイド	1 件		8 件	9 件	
計	一 般	412 件	287 件	275 件	974 件	1209 件
	ツアーガイド	49 件	54 件	132 件	235 件	
合 計		461 件	341 件	407 件	1209 件	
前年対比		−23	+51	+34	+62	

※ 警察本部提出分に限る。

13 県警山岳遭難救助隊の年別出動状況

所属別	総 数		富士山		南アルプス		その他	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
平成24年	62回	260人	43回	194人	5回	14人	14回	52人
平成25年	154	600	94	404	22	111	38	85
平成26年	73	352	57	278	6	42	10	32
平成27年	65	352	44	137	10	164	11	51
平成28年	105	317	84	210	7	44	14	63